



「であい ふれあい そして未来へ」 ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

## ☆第3回学校運営協議会が開かれました☆

10月11日(月)北コミュニティにて、今年度3回目となる学校運営協議会が開催されました。会議では、中原教育長の挨拶のあと、前回の7月以降の学校での行事、地域の皆様にお世話になった取り組みなどの報告、今後の行事のお知らせを行いました。

そのあと、今回の会議に講師としてお招きしたスクールソーシャルワーカー(S.S.W)の福島伸江先生より「子育てを見守り しあわせな学校生活を送る！～地域との協働～」というテーマでお話をいただきました。先生からは、子どもの実態(背景)を把握し、適切な支援を行うためには、学校だけ、保護者だけでなく、学校・家庭・地域が連携する必要があります。子どもを支援するために地域の力が必要とされている、とお話がありました。

参加の委員からは、「近所に子どもが少なく、接する機会がほとんどないが、子どもと接する機会を出来るだけ多くして、出会えば必ず声をかけ、様子を見ていくようにしていきたい。」「子どももっている才能をみつける。とらえ方によって、見方が変わることによって考え方が改まった。」などの意見・感想が出されました。

次回の学校運営協議会は12月8日(木)で、子どもたちの授業の様子を参観していただき、ご意見ご感想をいただく予定になっています。



## ☆図書館アドバイザーの江藤先生に授業をしていただきました☆

10月13日(木)、図書館アドバイザーの江藤先生にご来校いただき、読書に関する授業をしていただきました。江藤先生の2学期の来校は2回目で、前は3年生から5年生に、今回は4年生から6年生対象に授業をしていただきました。4年生の授業では、「みんなで同じ物語を読もう」というテーマで、まず、「フングリコングリ」の前半部分を各自で読んだと、物語の、「時」「場所」「登場人物」等を確認しました。そ



のあと、後半部分がどのようになるのか各自予想し意見を出し合い、後半の部分を読みました。授業の最後には、「フングリコングリ」の作者岡田淳さんの関連図書が白川小学校の図書館にもあり読むことができると紹介がありました。

## ☆歴史博物館による防災の授業がありました(10月12日)☆

4年生の社会科の授業で、地域の防災についての授業が、歴史博物館の学芸員の先生、学校支援員の先生にご来校いただき行われました。今回は、江戸時代に鈴鹿川の改修を行った、生田利左衛門の業績と、昭和49年に亀山市に大きな被害をもたらした昭和49年7月25日の集中豪雨「49災」のお話をさせていただきました。白川地区の近くでは、野登小学校付近の安楽川の橋がすべてながされ、野登地区



の一部が陸の孤島になったそうです。その際、自衛隊のヘリコプターが救援物資を亀山西小学校から野登小学校へ運んだというお話や、東名阪自動車道に緊急のインターをつくり、物資を野登地区に運んだ、などの話がありました。

### ☆お知らせ☆

10月13日のメール配信でもお知らせいたしましたが、10月・11月の以下の日において下校時刻が変更となりますので、お伝えいたします。よろしくお願いいたします。

**10月19日(水)13時50分 一斉下校**

**11月16日(水)13時10分 一斉下校**